

《 平成28年度 帯広市森林整備計画実行管理推進チーム 会議要旨報告 》

日 時 平成28年7月13日 (水) 10時00～11:20  
場 所 帯広市役所 10階 第4会議室  
出席委員 前川チーム長、樋口副チーム長、我妻委員、堀井委員、高橋委員、舟生委員、  
那賀島委員、小山内委員、猿渡委員、五十嵐委員、岡崎委員、  
説明員(事務局) 樋口補佐、伊藤主任、末松係員

会議式次第

1. 開 会 樋口副チーム長より
2. 挨拶 前川チーム長より
3. 議 事 前川チーム長が議長として進行
  - (1) 地域課題について 別紙資料により事務局説明
    - ア. 伐採跡地の解消(所有者への働きかけ・天然更新調査による現況の把握)
    - イ. 未施業の森林所有者への働きかけ別紙資料により事務局説明
  - (2) 平成25年の雪害による森林被害への対応 別紙資料により事務局説明
  - (3) 各種情報提供・意見交換について 別紙 道林務課資料により高橋委員説明  
別紙 道森林室資料により小山内委員説明  
別紙 十勝西部森林管理署資料により我妻委員説明
4. その他について 特になし
5. 閉 会 前川チーム長による閉会

【配布資料】

1. 構成員・出席者名簿
2. 式次第・資料
3. 伐採跡地位置図
4. 伐採跡地調書

【提供資料】

- 道林務課資料(十勝総合振興局)  
道森林室資料(十勝総合振興局)  
十勝西部森林管理署資料(十勝西部森林管理署)

【議事内容】

【チーム長】：議事（1）地域課題のアについて、事務局より説明指示。

【事務局】：ア伐採跡地の解消について、別紙資料に基づき説明。

説明概要 平成27年度の取り組みの経過と、森林調査簿及び航空写真を用い、伐採跡地の現状を5種類に分類し、今年度行う目視調査と次年度以降に行う標準地調査等の考え方について説明。

調査方法及び対応について、協議したい。

【舟生委員】：共通認識を持つために目慣らしを実施することは大切。分類Aも調査対象か。

【事務局】：照査時の現況確認の証拠とし、写真撮影が必要なため、Aも対象とする。

【小山内委員】：完了基準を確認するためにもAの確認は必要になる。調査後には結果を持ち寄り、天然更新完了基準書に基づき野帳を整理することが必要。  
また、更新完了の場合には、林小班番号、「更新完了」と記入した看板と一緒に写真を撮る。

【事務局】：更新完了以外の場合でも写真撮影をお願いしたいため、状況に応じた手順書を用意する。

【事務局】：班編成は1班3名以上を想定しており、各事務所に協力を求めたい。

【舟生委員】：調査時期の予定はいつか。

【小山内委員】：更新対象木が少しでも草より出る時期が良いが、葉っぱが落ちてからでは樹種の判別が難しくなるため、9月末から10月頭が良いのでは。

【事務局】：日程調整し、その時期に実施したいと思う。

【小山内委員】：今年度目視調査だけを行うのなら、最低2名でも可能。しかし、より多くの目で見の方がいいと思う。

【那賀島委員】：標準地を取る場合に悩むことが想定されるため、今年度調査の時点で意見をもち寄ったら、来年度以降の調査がやりやすいと思う。そのため複数人で見ることを望ましい。

【事務局】：現地調査の際に用意するものは「調査表」、「図面」でいいか。

【那賀島委員】：野帳としてはメモすべき事項が複数あると推定されるため、その他欄を広げた方が良い。

【猿渡委員】：業務多忙な時期のため、3名出せるか分からない。

また、山岳奥地の場合、私有地を通らなければ目的地に行けない場所もあり、所有者によっては、無断での入林を嫌がるが、対応は。

【事務局】：業務に支障が無いように協力いただきたい。私有地の横断については、事前に土地所有者へ確認を取る。

【那賀島委員】：調査時期について、補助申請の時期を除く、9月末～10月頃が適当。

【チーム長】：調査票の1・2欄は市で記入するため、3欄以降を調査時に記入していただくが、事前に日程調整し、照会をかけさせていただく。

【チーム長】：このほか意見等がなければ、次のイ未施業の森林所有者への働きかけについて、事務局説明を指示。

【事務局】：森林の荒廃化を防ぐことや、森林経営計画の参入を促進するため、平成26年度から森林所有者へ森林施業を薦めており、平成27年度には施業プランを森林組合より示し、現在は企業内で検討しているところ。

お盆を明けた頃に森林室、市、森林組合とともに再度訪問を行いたい。

このことについて、補足説明を森林組合に求める。

【猿渡委員】：森林室の協力の下、3件の所有者を訪問している。1件はパネルを立てるために一部を伐採し、残りを森林経営計画に加入し管理していきたいという人がいる。

【チーム長】：意見等がなければ、次の(2)平成25年の雪害による森林被害への対応について、事務局説明を指示。

【事務局】：被害状況及び間伐など施業の進捗状況、空港関係については自然回復を期待するものや、航空法による高さ制限による自力事業など復旧に係わる考え方を説明した。

【小山内委員】：空港関連の高さ制限は何mか。

【事務局】：場所によって異なるが、滑走路の延長は0mであり、それ以外は展開面で異なり、手元に資料を持っていないため説明できない。20年生以下でも伐採が必要となる場合がある。

【舟生委員】：植栽を含めて復旧計画となるが、植栽計画が漏れているのでは。

【事務局】：伐採等の被害復旧をベースにした他の資料を引用しており、森林の復旧計画とは異なる資料なためご理解願いたい。

【チーム長】：ほかに意見等がなければ、次の(3)各種情報提供・意見交換について、十勝総合振興局林務課にて説明をお願いします。

【高橋委員】：道林務課資料「森林経営計画今後の取組み」として、森林経営計画の適正な実行管理の必要性について説明。

森林経営計画は、造林補助金を受ける前提となるもので、認定の取り消しは、補助金返還の対象となる。

帯広市では、平成29年度に計画が満了するため、引き続き計画的な実行管理をお願いします。

また、森林統合クラウドシステムは、改善を繰り返しているが、不具合があれば画像をコピーして連絡されたい。

【事務局】：市はエラーが多く、マッチング(互換性)の問題があるのか、他町村は大丈夫なのか。

【高橋委員】：データサーバー内はブラックボックスであり、分からないのが現状。

【事務局】：道庁に確認すると互換性が悪いのではとされているが、計画認定中にエラーとなりシステムが落ちるので困っている。

【チーム長】：ほかに質問等がないため、次に森林室より説明をお願いします。

【小山内委員】：平成28年度林業普及指導事業として、人材育成など3つの重点課題への取組み等説明。別紙林業普及情報カードA及びドローンの配置による研修後に、森林調査等への活用を説明。

カラマツハラアカハバチの被害について、市の状況は。

【事務局】：微害で地域を移動しており、今後広がるのか不明である。

【小山内委員】：カラマツヤツバキクイムシの発生が陸別町一円に広がっている。最新の情報では陸別町の一般民有林全域で被害区域面積は1,329ha、実面積496haとなり、このほか足寄町、津別町にも被害が及んでいる。H25年度以降の風雪害及びカラマツハラアカハバチの食害による衰弱が大発生の要因と推測される。

【小山内委員】：コンテナ苗は簡便に、地域を選べず植栽が可能になる。今回植栽した清水町羽帯の活着率は良好。

【岡崎委員】：タケノコ堀用クワは北海道ではあまり見かけない。使い勝手はいいのか。

【舟生委員】：使用感は覚えていない。近くの店に売ってなく、今回のために通販で用意した。

【那賀島委員】：コンテナ苗は広尾町のトドマツから始まり、活着は良好。昨年浦幌町で植栽したカラマツの活着は良好だが、エゾシカの食害の影響を受けた。裸苗よりも活着がよく、初年度の伸びも良い。

【事務局】：初年度は下刈りを3回必要と聞いたが、何年間必要なのか。

【堀井委員】：初年度だけ3回刈れば、それ以降は裸苗と同じくらいのサイズになる。

【那賀島委員】：1年目は苗が小さく下草と間違えて刈らないよう注意が必要。

【我妻委員】：苗木にテープを巻いて目印としたことがある。

【事務局】：コンテナ苗の根に不安があるが、補助事業等の導入はどうか。

【堀井委員】：コンテナ苗の使用は強制ではなく、事業主体の選択肢が増えると考えて欲しい。H29年度には補助対象となる可能性がある。

【チーム長】：ほかに質問等がなければ、次に十勝西部森林管理署より説明をお願いする。

【我妻委員】：十勝西部森林管理署資料として、現行の「新農林水産省木材利用推進計画」は平成27年度末に終期を迎えることから、平成28年度から5年間を計画期間とするものに見直しされたので説明するとともに、関係機関の木材利用推進に向け協力をお願いする。

また、8月11日は山の日として、新たに国民の祝日となり、市のロビーやJR等でパンフレットの配布など周知に関する催しを行うが、山に感謝する日であることをご承知願ひ情報提供とします。

【チーム長】：今の説明に対し質問等があれば、また、全体を通して質問・意見等を確認。また、その他の情報提供について、有無の確認。

【チーム長】：その他協議事項がないため、これにて会議を終了する。

以上で閉会

